

浸水深
50cm以上の
浸水継続時間

浸水継続時間
24時間未満
24時間以上

1時間降雨量
153mmでの
内水浸水想定区域

座間市 内水ハザードマップ



内水シミュレーション条件
 ※内水シミュレーションは、雨水排水を河川へ排水できないことが前提となります。
 また、洪水(河川の破堤または越水)による氾濫等を考慮していません。
 ●1時間降雨量153mmは、水防法の規定により定められた想定最大降雨として設定。
 ●令和6年3月時点の下水道管(雨水)、水路、調整池等を施設条件として設定。
 ●マンホールポンプは、正常に稼働している設定。
 ●地盤高の条件は、国土地理院より公表されている5mメッシュの平均地盤高を設定。

※降雨状況により、浸水範囲や水深がさらに大きくなる可能性があります。
 ※内水氾濫が発生するよう雨が降る場合、土砂災害発生危険性も高まるため、土砂災害警戒区域等には近づかないようにしましょう。

LINE 座間市LINE公式アカウントからも
内水ハザードマップを確認できます。

凡例

| | | | |
|--|--------------|--|--------------|
| | 防災拠点施設 | | 防災行政無線 |
| | 指定緊急避難場所 | | 危険箇所(アンダーパス) |
| | 総合病院 | | 水位観測所 |
| | 一次避難所 | | 河川カメラ |
| | 二次避難所 | | 旧線 |
| | 応急救護所 | | 私鉄 |
| | 飲料水貯水槽 | | 市界 |
| | 警察署・交番 | | 大字界 |
| | 消防署 | | 主要道路 |
| | 水面(河川、ため池等) | | 土砂災害警戒区域 |
| | マンホールポンプ | | 土砂災害特別警戒区域 |
| | 災害ボランティアセンター | | |

浸水想定区域の見方

水深凡例

| | |
|----------------|----------------|
| 2.0m以上の区域 | 2.0m~の区域 |
| 1.0m~2.0m未満の区域 | 0.5m~1.0m未満の区域 |
| 0.5m~1.0m未満の区域 | 0.2m~0.5m未満の区域 |
| 0.2m~0.5m未満の区域 | 0.1m~0.2m未満の区域 |
| 0.1m~0.2m未満の区域 | |

市内を流れている下水道や水溝が大雨によって溢れたと仮定した場合に、予想される「浸水区域」や「浸水の深さ」を示したものです。なお、雨の降り方や下水道施設以外の排水施設の影響、下水道施設にゴミが貯まるなどにより、この浸水想定区域に指定されていない区域においても浸水が発生する場合があります。想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

指定緊急避難所一覧表

| 番号 | 名称 | 住所 | 電話番号 | 説明 | 位置 |
|----|-----------------|--------------|---------------|---------|-----|
| 1 | 座間小学校 | 座間 2-31-33 | ☎251-0009 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-3 |
| 2 | 栗原小学校 | 栗原中央 6-8-1 | ☎251-0074 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-6 |
| 3 | 相模野小学校 | 広野台 1-41-1 | ☎251-0625 | ☑ ☑ ☑ ☑ | B-5 |
| 4 | 相模台東小学校 | 栗原 1302 | ☎251-6446 | ☑ ☑ ☑ ☑ | B-6 |
| 5 | ひばりが丘小学校 | ひばりが丘 4-4-1 | ☎252-1124 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-7 |
| 6 | 栗原小学校 | 栗原 2-6-1 | ☎253-3145 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-6 |
| 7 | 相模が丘小学校 | 相模が丘 3-1-1 | ☎254-8202 | ☑ ☑ ☑ ☑ | A-6 |
| 8 | 立野台小学校 | 立野台 1-1-3 | ☎254-8100 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-5 |
| 9 | 入谷小学校 | 入谷西 5-8-1 | ☎253-7211 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-4 |
| 10 | 旭小学校 | ひばりが丘 5-43-1 | ☎253-2255 | ☑ ☑ ☑ ☑ | C-6 |
| 11 | 中原小学校 | 西栗原 2-16-1 | ☎251-3882 | ☑ ☑ ☑ ☑ | E-5 |
| 12 | 座間中学校 | 緑ヶ丘 4-6-10 | ☎251-10135 | ☑ ☑ ☑ ☑ | C-5 |
| 13 | 栗原中学校 | ひばりが丘 5-57-1 | ☎253-3357 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-6 |
| 14 | 栗原中学校 | 栗原中央 6-4-1 | ☎254-3977 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-6 |
| 15 | 相模中学校 | 相模が丘 6-35-1 | ☎253-2183 | ☑ ☑ ☑ ☑ | B-6 |
| 16 | 南中学校 | 南栗原 3-8-1 | ☎256-0700 | ☑ ☑ ☑ ☑ | E-6 |
| 17 | 立野台コミュニティセンター | 立野台 3-14-12 | ☎255-0815 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-5 |
| 18 | 小松原コミュニティセンター | 小松原 1-45-14 | ☎257-9640 | ☑ ☑ ☑ ☑ | B-7 |
| 19 | 栗原コミュニティセンター | 栗原 4-13-13 | ☎255-9770 | ☑ ☑ ☑ ☑ | E-6 |
| 20 | 相模野コミュニティセンター | 相模が丘 3-38-1 | ☎258-3000 | ☑ ☑ ☑ ☑ | A-3 |
| 21 | 相模台コミュニティセンター | 相模台 3-20-18 | ☎258-3001 | ☑ ☑ ☑ ☑ | B-5 |
| 22 | ひばりが丘コミュニティセンター | ひばりが丘 1-49-1 | ☎257-7698 | ☑ ☑ ☑ ☑ | C-7 |
| 23 | 栗原コミュニティセンター | 栗原中央 3-29-17 | ☎257-7210 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-5 |
| 24 | 東栗原高等学校 | 入谷西 5-11-1 | ☎253-2011 | ☑ ☑ ☑ ☑ | E-4 |
| 25 | 東栗原総合高等学校 | 栗原 2-48-7 | ☎253-2920 | ☑ ☑ ☑ ☑ | C-5 |
| 26 | 東栗原相模野総合高等学校 | ひばりが丘 3-58-1 | ☎296-3455 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-7 |
| 27 | 南栗原公民館 | 入谷西 2-53-34 | ☎255-3131 | ☑ ☑ ☑ ☑ | A-3 |
| 28 | 北地区文化センター | 相模が丘 5-30-4 | ☎042-747-3361 | ☑ ☑ ☑ ☑ | A-6 |
| 29 | 東地区文化センター | 栗原 3-1-1 | ☎253-0781 | ☑ ☑ ☑ ☑ | E-6 |
| 30 | もくせい園 | 栗原中央 6-7-27 | ☎253-0804 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-5 |
| 31 | 通園センター | 栗原 2-8-1 | ☎254-2655 | ☑ ☑ ☑ ☑ | D-6 |

避難所について

大雨が降った時に開設される避難場所については、座間市から登録メール、防災行政無線、音聲自動応答サービス(020-20-3797)等にてお知らせします。
 なお、避難先の指定はしていませんので、その時開設されている避難場所をご確認の上、安全な経路でお近くの避難所に避難してください。

座間市上下水道局 下水道施設課

内水ハザードマップ

内水ハザードマップとは

座間市では、『座間市雨水管理総合計画』に基づき下水道整備（雨水）の方針を定めていますが、近年の気候変動に伴い大雨の頻度や雨量が増加していることから、今後いつ洪水被害が発生するかわかりません。内水ハザードマップが図示している浸水区域と浸水深は、想定される最も大きな雨（1時間雨量153mm）が降った時に、下水道管などから雨水があふれることが想定される浸水状況をシミュレーションにより予測したものです。公表済みの『座間市防災ハザードマップ』と併せて、降雨時の避難経路の検討など、水害への事前の備えとともに情報共有ツールとしてご利用ください。

内水ハザードマップの使い方

①内水ハザードマップの見方

内水ハザードマップでは、道路施設、下水道施設（雨水）の能力を上回る雨が降った時に、あふれた雨水がたまる場所と水深を予測しています。水深の目安は右の図に示すとおりです。現在お住まいの周りで予測される浸水状況や避難場所までのルート選定にご利用下さい。



②避難場所の確認

大雨や夜間の際は視界が悪くなるため、あらかじめ安全なルートや最寄りの避難場所などを家族で確認しておきましょう。浸水が想定される区域を横断することは危険ですので迂回しましょう。坂道や窪地などは、道路上を水が流れて足を取られたり水がたまる可能性がありますので注意が必要です。

③家族間での情報共有

防災メモに、家族の避難場所、自宅の水害リスクなどを整理し、家族間で情報共有しておきましょう。

④避難時の持ち物のチェック

日頃から、『避難時の持ち物のチェック』を参考に、事前の準備を行い、速やかに持ち出せるよう、備えましょう。

内水ハザードマップの問い合わせ/下水道管からの浸水被害などのご連絡
：上下水道局 下水道施設課 TEL:046-252-8629

家族間での情報共有

もしもの時の連絡方法

災害用伝言ダイヤル「171」や災害用伝言板は、災害時の安否確認に有効な方法です。

「災害用伝言ダイヤル171」の活用

伝言の録音方法
171にダイヤルする → 録音の場合1 → 固定電話*、携帯電話、IP電話の番号
ガイダンスが流れます

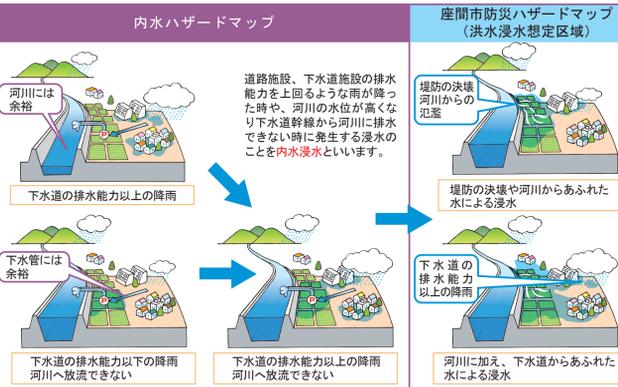
伝言の再生方法
171にダイヤルする → 再生の場合2 → 固定電話*、携帯電話、IP電話の番号
※固定電話は市外局番からダイヤルしてください

わが家の防災メモ

| | | | |
|--------------|---|--|------|
| 家族の連絡先 | 名前 | 電話番号 | メモ |
| 家族の避難場所 | 避難場所 | 待ち合わせ場所 | |
| 自宅の水害リスク | 浸水想定区域 | <input type="checkbox"/> 浸水想定区域内 <input type="checkbox"/> 浸水想定区域外 | |
| | 浸水深 | <input type="checkbox"/> 0.1~0.2m未満 <input type="checkbox"/> 0.2~0.5m未満 <input type="checkbox"/> 0.5~1.0m未満 <input type="checkbox"/> 1.0~2.0m未満 <input type="checkbox"/> 2.0m以上 | |
| 避難方法 | <input type="checkbox"/> 立退き避難（水平避難） <input type="checkbox"/> 屋内安全確保（垂直避難） 階に避難 | | |
| 非常食・飲料水の賞味期限 | 品名 | | 賞味期限 |
| | | | |

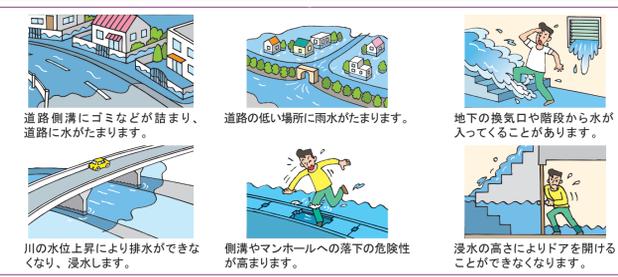
大雨が引き起こす災害

① 浸水のメカニズム



河川からの越水や堤防決壊が発生すると、座間市防災ハザードマップ（洪水浸水想定区域）の浸水区域に移行します。
 ■ 河川からの越水又は堤防決壊がない場合 → 内水ハザードマップを見ましょう。
 ■ 河川からの越水又は堤防決壊がある場合 → 座間市防災ハザードマップ（洪水浸水想定区域）を見ましょう。

② 内水ハザードマップで予想している災害



国土交通省「内水ハザードマップ作成の手引き（案）」より引用

避難時の持ち物のチェック

日ごろから準備をおこない、いざという時に備えましょう。非常持ち出し袋は両手を使えるためにも、リュックサックが便利です。家族の誰もがすぐに持ち出せるように、わかりやすい場所に保管しましょう。

避難時に必要なもの

- ロープ
- 杖又は棒
- 懐中電灯
- 内水ハザードマップ
- 車手、合羽、運動靴
- ヘルメット
- 座間市防災ハザードマップ
- 非常食・飲料水
- 防寒着・マスク・靴下など
- ラジオ
- 子供用品
- 介護用品
- ビニール袋

避難場所に必要なもの

- 常備薬
- スマホ
- 充電器
- モバイルバッテリー

避難時持ち出し品は最小限にしましょう！

雨量・気象情報とその収集

① 雨の強さと降り方

| 1時間降雨量 | 10~20mm | 20~30mm | 30~50mm | 50~80mm | 80mm以上 |
|-----------|---------------------|--|--|------------------------|---|
| | やや強い雨 | 強い雨 | 激しい雨 | 非常に激しい雨 | 猛烈な雨 |
| 屋外の様子 | | | | | |
| 雨の降り方 | ザーザーと降り、足元がぬれる | どしゃぶりの雨、傘をさしてもぬれる | バケツをひっくり返したように降る雨 | 滝のように降る | 息苦しくなるような圧迫感 |
| 予想される浸水状況 | 長雨になりそうな場合は注意が必要です。 | 下水、小河川の浸水、または、崖崩れの心配もあります。テレビ・ラジオなどで今後の様子を注視し、避難の準備をしましょう。 | 山崩れ、崖崩れが起こりやすくなります。道路が川のようになり交通規制も行われます。 | 地下室や地下街に水が流れ込む危険があります。 | 大規模な災害が発生する恐れが強く、警戒が必要です。建物の高い場所に避難しましょう。 |

② 特に注意が必要な気象情報・避難情報

①気象情報

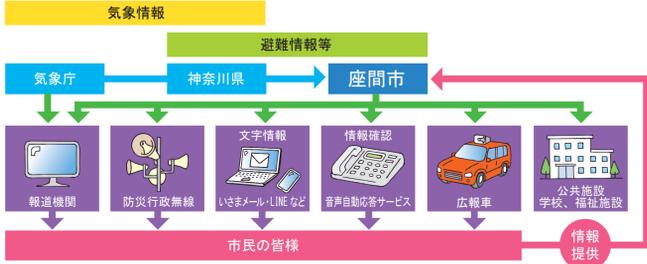
| 名称 | 内容 |
|-------|--|
| 大雨注意報 | 大雨や洪水によって、災害が起こるおそれのある場合に気象庁から注意報が発表されます。 |
| 洪水注意報 | 大雨や洪水によって、より重大な災害が起こるおそれのある場合に気象庁から注意報が発表されます。 |
| 大雨警報 | 大雨や洪水によって、より重大な災害が起こるおそれのある場合に気象庁から警報が発表されます。 |
| 洪水警報 | 大雨や洪水によって、より重大な災害が起こるおそれのある場合に気象庁から警報が発表されます。 |

②避難情報

| 警戒レベル | 状況 | 新たな避難情報等 | 内容 |
|-------|--------------|---------------|---|
| 5 | 災害発生または切迫 | 緊急安全確保 ※1 | 災害時に、避難行動が容易にとれるよう、住民がとるべき行動を5段階に分け、防災情報を提供します。警戒レベル1~2は気象庁が発表、警戒レベル3~5は座間市から発令します。警戒レベル5は既に災害が発生し、命が危険な状況です。警戒レベル4の段階で避難を完了させましょう。 |
| 4 | 災害のおそれ高い | 避難指示 ※2 | ※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。 |
| 3 | 災害のおそれあり | 高齢者等避難 ※3 | ※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。 |
| 2 | 気象状況悪化 | 大雨・洪水注意報（気象庁） | ※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人にも必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。 |
| 1 | 今後気象状況悪化のおそれ | 早期注意情報（気象庁） | |

座間市の情報伝達経路

避難指示などの情報は下図のように市民の皆様へ伝達されます。



情報の入手先を確認しましょう

テレビ・ラジオなどで天気予報に注意し、大雨や洪水などの注意報が発表された場合には、下記ホームページなどから情報を収集しましょう。

座間市からの情報提供

- 防災行政無線**：災害発生時などに、防災に関する緊急情報を、市内各所に設置しているスピーカーから、一斉に放送します。
- 音声自動応答サービス**：防災行政無線で放送された内容がよく聞こえなかった場合や、放送内容をもう一度確認したい時などに、自動音声で確認できます。☎0120-673-679
- 座間市緊急情報いさまメール配信**：市内で発生した災害などの情報を、携帯電話やパソコンに「電子メール」で配信するサービスです。
- LINE公式アカウント**：座間市公式LINEより防災情報の配信を行っています。左のQRコードから友だち登録をお願いします。

| | | | | | |
|------------|-----|-------------|-------------|-----------------|-----------------|
| 座間市緊急・防災情報 | 気象庁 | 国土交通省川の防災情報 | 神奈川県防災・災害情報 | 神奈川県雨量水位情報パソコン版 | 神奈川県雨量水位情報携帯電話版 |
| | | | | | |

情報提供元：危機管理課

避難行動の注意点

① 避難行動の目安と注意点

①水平避難・垂直避難を使い分けましょう

危険な避難 ← 水平避難 →

↑ 垂直避難 ↓

内水氾濫による浸水は短時間のうちに発生し、避難場所までの移動が危険になることも考えられます。その場合、自宅や近くの建物の高い所へ移動する垂直避難を心がけましょう。

②アンダーパスおよび地盤の低い所には入らない！

アンダーパスは周辺の地面よりも低く、雨水が集まりやすい地形構造となっています。

不用意に通行せず、迂回する道路が冠水している状況を見つけた場合、通行せずに迂回等の危険回避を最優先で行ってください。侵入してしまったら、脱出することを第一に考える冠水した道路に侵入した場合は、脱出してください。

② いざという時の避難計画「マイ・タイムライン」を作ろう

避難とは「難」を「避」けること。安全な場所にいる人まで避難場所に行く必要はありません。安全確保に必要な行動は、家族構成や生活状況などにより異なります。自分の状況に合わせた避難計画を時系列で整理したものを「マイ・タイムライン」といいます。あらかじめ身近な人と話し合っておくことで、風水害時の行動チェックや判断のサポートになります。

台風を想定した場合の基本の流れ

平常時 → 数日前 → 数時間前 → 災害発生

- 平常時：ハザードマップを確認・非常持ち出し袋の確保。避難先や避難の方法、避難を始めるタイミングを事前に決めておく。
- 数日前：気象情報を確認。テレビやラジオ、インターネットなどを活用し、気象情報を確認しておく。
- 数時間前：避難準備。持ち出し品や避難のタイミングをいまだ確認する。
- 災害発生：市が「避難場所」を開設 → 市からの情報を確認し避難を開始する。市からの情報は緊急情報いさまメール・防災行政無線・市ホームページなどでお知らせします。
- 災害発生：市が「避難指示」を発令 → 避難・安全確保のための行動をとる。

日ごろおよび避難時の心得

① 大雨に備えた準備

大雨に備えた準備をし、いつでも避難できるようにしておきましょう。

- ①浸水に備えましょう：浸水の恐れがあるときは、家財道具など2階などの高い所へ移動させる。
- ②停電に備えましょう：停電に備えて懐中電灯等の用意をしておく。
- ③非常持ち出し袋を用意しましょう：非常持ち出し袋を身近な所に置いて、いつでも避難できるようにしておく。

② 事前にできる対策

- ①道路上の集水ますをキレイにしましょう
- ②避難する場所を確認しましょう
- ③避難する経路を歩いてみましょう
- ④雨水貯留・浸透施設の設置

道路上の集水ますが塞がると、内水浸水が発生するおそれがありますので、定期的に清掃しましょう。

自宅から避難場所、学校や勤務先からの避難場所も全員で確認しましょう。

避難場所までの経路（避難路）は、複数決めておきましょう。

家の屋根に降った雨水を地中に浸透・貯留させることで、内水浸水を防ぐことができます。

③ 避難のポイント

危険を感じたら避難指示があったらすぐに避難しましょう。

- ①ガスの元栓を閉める
- ②電気のパレーカーを落とす
- ③水道の元栓を閉める
- ④徒歩で避難をする
- ⑤隣近所に声をかける
- ⑥足下に注意をする
- ⑦マンホールや側溝に注意
- ⑧2階以上へ避難をする

避難時には2人以上で行動する。隣近所に声をかけ、集団で避難しましょう。

くぼみや溝を確かめるため、足元の安全を確認しましょう。長靴は水が入ると危険なため、スニーカーなどを履くようにしましょう。

大雨の浸水により、マンホールのフタが聞き、側溝が見えなくなるので歩行に注意しましょう。

外に出ることが危険と感じた場合は、自宅や近くの建物の2階以上に避難しましょう。